

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

アロプリノール錠 50mg 「NS」、アロプリノール錠 100mg 「NS」

一般名： アロプリノール (Allopurinol)	販売名	アロプリノール錠 50mg 「NS」	アロプリノール錠 100mg 「NS」
	形状（製剤 写真等）		

1. どんな薬

- この薬は、体内で尿酸^{りゅうさん}が作られるのを抑^{おさ}え、血液中の尿酸^{りゅうさん}の量を低下させます。[高尿酸^{こうりゅうさん} 血症^{けっしゅう} 治療剤^{ちりょうざい}]

2. この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師^{やくざいし}に相談してください。
 - ・過去にアロプリノール錠「NS」に含まれる成分で過敏症^{かびんしょう}のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師^{やくざいし}に相談してください。
 - ・腎臓^{じんぞう}に障害^{しょうがい}のある人
 - ・肝臓^{かんぞう}に障害^{しょうがい}のある人
 - ・妊婦^{にんぶ}または妊娠^{にんしん}している可能性のある人
 - ・授乳中^{じゅりゅう}の人
- この薬には一緒^{いっしょ}に使用する場合に注意が必要な薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師^{やくざいし}に相談してください。

3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状^{しょうじょう}があらわれることがあります。これらの症状^{しょうじょう}に気づいたら、医師や薬剤師^{やくざいし}に相談してください。

主な症状 ^{しょうじょう}	考えられる副作用など
熱が出る、体じゅうが赤くなる、皮ふや粘膜 ^{ねんまく} のただれ、水ぶくれ	重い皮膚 ^{ひふ} 症状 ^{しょうじょう}
体じゅうがかゆい、皮ふにブツブツができる、のどがかゆい、ふらつき、ドキドキする、息がしにくいと感じる	重い過敏 ^{かびん} 症状 ^{しょうじょう}

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載^{きさい}されている副作用のほか、比較^{ひかく}的^{てき}よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状^{しょうじょう}や、普段^{ふだん}と異なる症状^{しょうじょう}に気づいたら、医師や薬剤師^{やくざいし}に相談してください。

主な症状 ^{しょうじょう}	考えられる副作用
食欲 ^{しょくよく} がない	食欲 ^{しょくよく} 不振 ^{ふん}
体が重くて動きたくない感じがする	全身 ^{ぜんしん} 倦怠 ^{けんたい} 感 ^{かん}
毛が抜ける	脱毛 ^{だつもう}

5. 保管方法

直射日光と湿気^{しっけ}をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

6. 問い合わせ先

症状^{しょうじょう}、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師^{やくざいし}におたずねください。

この製品に対する一般的な事項^{いっぽんてき じこう}に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：日新製薬株式会社 安全管理部

販売会社：第一三共エスファ株式会社 (<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)

電話：お客様相談室 0120-100-601、受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>